

# 至高の華「舞と語り」

令和5年3月13日(月) 午後6時30分開演(午後6時開場)  
大槻能楽堂 大阪市中央区上町A-7 電話:06-6761-8055

語り 新作「初世 梅若実」 作:小佐田 定雄

出演 桂 南光

舞踊詩劇「智恵子抄」 原作:高村 光太郎

構成・振付:藤間 勘十郎

高村光太郎 梅若 実桜雪

智恵子 藤間 勘十郎

朗読 高橋 恵子

謡 川口 晃平 ほか

唄 松永 忠之助

唄 松永 和之助

箏曲 長塚 梨秋

箏曲 菊武 粧子

囃子 堅田 紗都子

笛 望月 輝美輔

【料金】S席 8,000円

A席 6,000円

学生(A席限定)2,000円(税込・全席指定)

※学生席ご購入者は、当日学生証をご提示いただきます。

必ず携帯のうえでご来場ください。

※やむを得ない事由により公演当日

上演内容が変更となる場合がございます。

予めご了承くださいませ。様お願い申し上げます。

## 上演目録

語り 新作『初世 梅若実』 作:小佐田 定雄

五拾六世梅若六郎家当主梅若実桜雪の曾祖父である初世梅若実(1828-1909)の一生を描いた物語。親世流

二十六世宗家清和師より雪号(せつごう)能楽シテ方親世流において「雪」字をもちいた芸名)を拝号した梅若実桜雪の拝号を記念し、作家・小佐田定雄が執筆、梅若実桜雪に謡と小鼓を教わる桂南光が語る本邦初公開の作品である。

丹波猿楽に由来する能楽シテ方五十一世梅若六郎氏場に望まれて9歳の時に養子となり12歳で梅若六郎家の家督を相続。その後26歳で六郎と改名38歳のときに自宅に杉の板割2間4方・橋掛り1畳半の敷舞台を設け、その後は時代背景に沿った能の在りかた、一般に広く親しまれる芸術としての能楽の発展のため力をつくした。初の外国人の弟子としてアメリカ人モースと日本美術を海外へ広めたフェノロースが入門するなど梅若六郎家の能舞台は文化サロンの存在でもあったという。能楽の黎明期を力強く生きた初世梅若実の生涯を、桂南光の語りにてお届けいたします。

舞踊詩劇『智恵子抄』 原作:高村光太郎 構成:藤間勘十郎

『智恵子抄』(ちえこしょう)は、詩人の高村光太郎が1941年に龍星閣から出版した詩集。智恵子とは妻の高村智恵子のことであり、彼女と結婚する以前(1912)から彼女の死後(1941)の30年間にわたって書かれた、彼女に関する詩29篇、短歌6首、3篇の散文が収録されている。

本日上演する舞踊詩劇『智恵子抄』では、光太郎を能で梅若実桜雪が、智恵子を日本舞踊で藤間勘十郎が、そして詩を女優の高橋恵子が朗読。日本舞踊と能楽をコラボレートさせそれぞれの特徴を活かした異色の作品です。出版後、映画、ドラマはじめ様々の形態にて上演された作品である、能楽版としては、武智鉄二構成、観世寿夫作曲の「智恵子抄」がある。舞踊詩劇の本作は2006年の初演以降、度々演じられ今回は令和初の上演さらに進化した智恵子抄をお楽しみいただけます。

## ●チケット発売日● 2023年1月14日(土) 午前10時～

【チケットに関するお問合せ】

キョードーインフォメーション 0570-200-888(午前11時～午後6時 ※日・祝を除く)

【公演に関するお問合せ】 ダンスウエスト 06-6447-1950(平日・午前11時～午後5時)

【チケットのお求めは】

- チケットぴあ <http://t.pia.jp/> Pコード:517-246 (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <http://l-tike.com/> Lコード:55979 (パソコン・携帯)
- CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター受付)
- e+(イープラス) <http://eplus.jp>

本公演はご来場者様はじめ出演者・スタッフ一同の安心と安全を第一に感染症対策を万全に実施し開催させていただきます。

ご来場の際は、手指の消毒・検温、会場内で必ずマスク着用の上会話は最小限にまた見所での飲食はお控えいただく等、感染症拡大防止対策にご協力をお願い申し上げます。体温37.5℃以上、ご体調悪しき方はご来場をお控えください。

## 至高の華「舞と語り」公演を応援しています



4月25年を迎えて

年盛りに向かふ芸能の生ずる所なり  
風安花伝「年乗稽古出条々」二十四・五

大阪のまん中 堺筋本町から  
大阪商工信用金庫は  
いま新たなステージへ

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号  
(地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅15番出口すぐ)  
Tel 06-6267-1636(代表)  
Fax 06-6267-2879

大阪商工信用金庫  
<http://www.osaka-shoko.co.jp>



Dr. づるかめキッチン  
DR. TSURUKAME KITCHEN

創業寛延年間  
萩の露  
Haginotsuyu Since 1751

HAGINOTSUYU\_OFFICIAL